

家庭科学習指導案

指導者 杉川 理恵

1 学 年 第5学年1組 28名

2 題 材 名 買い物名人になろう！

3 題材の目標

【家庭生活への関心・意欲・態度】

○物や金銭の計画的な使い方に関心を持ち、物や金銭を大切にし、適切に買物をしようとする。

【生活を創意工夫する能力】

○物や金銭の計画的な使い方と適切な買物について課題を見つけ、その解決をめざして考えたり自分なりに工夫したりすることができる。

【生活の技能】

○物や金銭の計画的な使い方と適切な買い方に関する基礎的・基本的な技能を身につけることができる。

【家庭生活についての知識・理解】

○物や金銭の計画的な使い方と適切な買い方について理解し、基礎的・基本的な知識を身につけることができる。

4 題材について

○ 本題材は、小学校学習指導要領家庭に次のように示されている。

D 身近な消費生活と環境

(1) 物や金銭の使い方や買物について、次の事項を指導する。

ア 物や金銭の大切さに気付き、計画的な使い方を考えること。

イ 身近な物の選び方、買い方を考え、適切に購入できること。

ここでは、身近な生活における消費と環境の学習を通して、物や金銭の使い方への関心を高め、環境に配慮することの大切さに気付くとともに、物の選択、購入及び活用に関する基礎的・基本的な知識及び技能を身に付け、身近な消費生活や環境をよりよくしようと工夫する能力と実践的な態度を育てることをねらいとしている。

私たちは、健康で楽しい生活を送るために、様々な物を購入して生活を成り立たせている。生活のために必要な商品・サービスを購入し、それを消費するというスタイルが家庭生活の基本となっている。食べる・住む・学ぶ・くつろぐ・遊ぶといったあらゆる生活行動をするには、商品やサービスの多くをお金と引き換えに購入しなければならない。つまり、お金を必要とする社会であり、日常生活のほとんどの活動が直接・間接に消費生活とかわかって、私たちの生活を支えている。近年、社会がいわゆる情報化・サービス化などの方向に進むとともに、その影響を受けて消費者の意識や生活の仕方も変化してきている。例えば、「これを使えば便利」、「これさえあれば健康になる」とかいったキャッチコピーや、「快適になる」、「かっこいい」など人々の目を引こうとする宣伝や過当な販売競争につられてつい購入してしまうこともある。また、インターネットを使った購入方法も普及し、実際に物を手にすることなく、パソコンの画面を通して品物を選ぶこともできるようになった。私たちはたくさんの情報の中から自分にとってどれが適切なのか選択していかなければならない。また、このような物や情報の氾濫は不必要な物を購入することにもつながり、物の有効な使い方を考えることなく、安易に廃棄してしまうことにもな

りうる。

このように変化する消費生活に目を向け、一人一人の児童がどのように生活したらよいかを考えて行動できるように必要な知識や技能を身に付けることが今、求められている。物を購入・消費し、廃棄している生活で、適切に価値判断し、意思決定して行動できる力を育むことが必要である。

本題材は、たくさんの商品の中から目的に合った品物を選び、自分に合った買物ができるように、意思決定の力を育てるのに適した題材である。自らの体験を生かしながら問題解決を図る活動の場面を設定し学習することができる。また、ただ金銭的な面から物の購入を考えるのではなく、家族を思い浮かべたり、環境や物の使い方・廃棄の仕方などを考えたりして買物をするものの大切さに気付かせることもできる。そして、消費者の一人として、計画的に生活する必要性を感じ取り、自分たちの生活に生かそうとする力を育みたい。

- 買物に対するアンケートを行ったところ、今まで自分のお金で何かを選んで買い物をした経験を持っている児童は92.3%おり、お菓子や文房具・友だちへのプレゼントなどを買っていた。なかには高価なゲームなどを買っている児童も38.5%いた。買物が「好き」と答えた児童は84.6%おり、その理由には「たくさんの商品を前にするとわくわくして楽しい」「自分の欲しいものが手に入るから」を挙げていた。また、選ぶときに気を付けたこととしては、多くの児童が「値段」を挙げていた。本当に必要な物であるか、品質はどうかといったことに留意している児童は少ない。「買物が成功してうれしかったことはどんなことですか」との問いには、「一番安くなって物を買えたこと」「おこづかいのちょうど500円で使いこなせたこと」「買った品物が役に立った」「（服）似合ったり、よく出番があったり」「自分がお金を払った物に対して愛着がある」と答えていた。「買った物を大切にしている」と答えた児童は92.3%いた。次に「買物をして失敗したなどと思ったことはどんなことですか」という問いに対しては、「お金をたくさん使ってしまった」「思っていた品物と違った」「欲しいと思って買った本も読んだらすぐに飽きてしまった」「くじをして、当たらないからとずっとやり続けてしまった」「お金が足りなくなった」「買ったのに使えなかった」「買った物より、まだ面白そうなゲームがあって残念だった」「似合わなかった」「買ったのに使わなかった」などたくさんの失敗談が出てきた。これらの体験を学習の中でしっかり活用していきたい。

また、今日、広く社会で環境への取り組みがマスコミを通して伝えられるなか、「環境のことを考えて買物をしていますか」の問いに対して80.7%の児童が意識をしていた。しかし、「買物をする時、使わなくなって捨てる時のことを考えていますか」の問いには65.3%の児童しか意識を持つことができていなかった。買物が環境とどのようにつながっているのかについても気付かせていきたい。

- 指導に当たっては、第5・6年生を通した2年間で、買物の仕方〔消費者としての在り方〕を学べる中心的な題材となるので、買物の基礎的な知識や技能を習得できるよう、児童の生活の実態と関わらせ、具体物を通して、しっかりと思考する過程を大切にしていきたいと考える。
- まず、私たちの生活はたくさんの物やサービスによって支えられることで成り立っており、その物やサービスを得るために必要なのがお金であることに気付かせる。しかし、家族が働いて得るお金には限りがあり、大切なお金を無駄にしない計画的な買物の必要性に気付かせていく。そして、自分や家族の買物を振り返り、成功や失敗の体験、また、そこから学んだことなどを交流することを通して、本題材を学習することで『かしこい消費者「買い物名人」になろう！』とする意欲をもたせる。

次に、目的に合った計画的な買物ができるよう、具体的な買物場面を想定し、自分だったらどうするか理由を挙げながら考えさせて、「買い方の手順」について確かめていく。また、ここでは、食品（野菜・果物）・加工食品・菓子飲み物・衣服・文房具・電化製品の6グループに分か

れ、その商品のかしこい買い方について、家庭調査をしたり、お助けスタッフの方の助言を聞いたり、自分の経験も加えながら、グループごとに考えポスターにまとめさせる。その発表交流会を通して、児童は生活を多面的に捉え、広く消費生活の全領域についての「かしこい買い方」を理解することができる考えた。

また、今日的な消費生活の長所や短所に気付かせるため、いろいろな買い方として、実物を手に取って確かめることができないインターネットや通信販売、プリペイドカードについても触れ、消費生活で問題が起きた時の相談窓口の存在についても知らせておく。

さらに、現代の生活が環境と相互に深いかかわりの中で営まれていることに注目し、消費生活においても環境への配慮が必要であるとともに、環境へ配慮するためには消費生活のあり方を考えよりよく工夫しようとすることを意識させていく。

そして、これまでの学習を生かして買物計画を立て、実践し、その振り返りを発表し合う場を設け、交流することで、買物に対する基礎的・基本的な知識・技能の定着を図りたい。

題材の最終ゴールでは、「我が家の買い物憲法」ができることをめざす。そのために、毎時間学んだことを条文として記録しまとめさせていく。そして、家族に自分の学びを伝え、返事をもらう活動を通して、家庭でも「環境に配慮したよりよい消費生活」を児童と共にめざしていけるようにしたい。

5 題材の評価規準

家庭生活への関心・意欲・態度	生活を創意工夫する能力	生活の技能	家庭生活についての知識・理解
物や金銭の計画的な使い方に関心をもち、物や金銭を大切にし、適切に買物をしようとしている。	物や金銭の計画的な使い方と適切な買物について課題を見つけ、その解決をめざして考えたり自分なりに工夫したりしている。	物や金銭の計画的な使い方や適切な買物に関する基礎的・基本的な技能を身につけている。	物や金銭の計画的な使い方や適切な買物について理解し、基礎的・基本的な知識を身につけている。

6 指導計画（全8時間）

次	時	学習内容	期待する児童の意識の流れ	評価規準（評価方法）
一 次	1	< 買い物名人になろう！ > お金の使い方、物の選び方を見つめよう！ ○生活を支えている物やサービスを買うお金の大切さや収入を得るために働くことの大変さについて考える。	限りあるお金を大切に使わないといけないな。 	自分の生活とのかかわりから物や金銭の大切さに気づき、その使い方に関心を持っている。 【家庭生活への関心・意欲・態度】 （発言・ワークシート）
	2	家庭調査隊「買い物の失敗談について調べよう」 ○限りあるお金を有効に使うために物の選び方や買い方について体験を出し合い考える。	「買い物名人」になるための知識や技をGETしなくっちゃ。 	自分の生活とのかかわりから物や金銭の大切さについて理解している。 【家庭生活についての知識・理解】

二 次	○学習の見通しを持つ。 3 「買い物名人」へのスキルアップ！ ○設定された課題に対して、買う場合、買わない場合について長所・短所を挙げて整理する。 ○「買い方の手順」について知り、意思決定する。 本当に必要な物かどうかしっかり考えることが大切なのね。 お金を大切にするためにも、計画的な買い物をしなくっちゃ。 4 『すてきなお楽しみ会』を開くために、かしこい買い方のポイントを発表し交流しよう！ 家庭調査隊「かしこい買い物の仕方について調べよう」 ○食品（野菜・果物），加工食品，菓子・飲み物，衣服，文房具・小物，電化製品・おもちゃ（ゲーム）の6グループに分かれ，それぞれのよりよい買い方について考え，ポスターにまとめる。 値段だけでなく，品質にも気をつけなくちゃ。そのために，マークを見たり，品質表示を見たりしないといけないのね。 チラシやお店の人に聞くなど，商品に関する情報をたくさん集めた方がいい買い物ができるね。 5 (本時) ○グループごとの品物について「買い物名人」になるポイントとお楽しみ会に向けた品物選びの発表をし合い交流する。 買う品物によって，選ぶポイントがいろいろちがうんだな。 へえー，品質を保証するマークがあるんだ。 6 ○いろいろな買い方について，その長所と短所を考える。 ○環境に配慮した買物の仕方について考える。 実物を見ない買い方については，十分注意しないといけないんだな。	(発言・ワークシート) - 身近な物の選び方や買い方に関心をもち，適切に買物をしようとしている。 【家庭生活への関心・意欲・態度】 (発言・ワークシート) - 物や金銭の計画的な使い方や適切な買い方について理解している。 【家庭生活についての知識・理解】 (発言・ワークシート) - 購入しようとする物の品質や価格などの情報を集め，整理することができる。【生活の技能】 (発言・ワークシート・作品) - 目的や品質を考えた物の選び方や適切な買い方について理解している。 【家庭生活についての知識・理解】 (発言・ワークシート・作品) - 目的や品質，また，環境について考えた物の選び方や適切な買い方について理解している。 【家庭生活についての知識・理解】
----------------	--	--

三 次	7	○これまでの学習を生かして、自分の買物計画を立てる。  私たちの買物の仕方が環境問題とつながっているのね。気をつけなくっちゃ。  「かしこい買物」の仕方が分かっていたぞ。学んだことを生かして、さあ、買物だ！ 家庭チャレンジ「かしこい買い物をしよう」 「我が家の買い物憲法」を作ろう！ ○自分の買物実践について発表・交流する。  それぞれ目的に合うように、品質や量、環境のことを考えて買い物をしているな。  たくさん条文ができたぞ。家族は、何て言うかな。 ○「我が家の買い物憲法」を仕上げる。 家庭報告隊「我が家の買い物憲法」を伝えよう ○「我が家の買い物憲法」について、発表・交流する。   これからは、限られたお金を大切に、かしこい買い物をしていこう！ と の 関 連 他 の 題 材	(発言・ワークシート) - 購入しようとする物の品質や価格などの情報を活用し、目的に合った物の選び方や買い方について考えたり、自分なりに工夫したりしている。 【生活を創意工夫する能力】 (発言・ワークシート) - 物や金銭の計画的な使い方と適切な買い方について課題を見つけ、その解決をめざして考えたり、自分なりに工夫したりしている。 【生活を創意工夫する能力】 (発言・ワークシート) - 物や金銭の計画的な使い方に関心を持ち、適切な買物について考えようとしている。 【家庭生活への関心・意欲・態度】 (発言・ワークシート)
	8		

- ★ 「生活ウォッチングⅠ」(第5学年) できる仕事をふやそう<A(2)ア>
 ★ 「めざせ！ゆで方名人」(第5学年) ゆでる調理をしよう<B(3)ア D(2)ア>
 ★ 「めざせ！日本の朝ご飯」(第5学年) ご飯とみそ汁をつくろう<B(3)アイ D(2)ア>
 ★ 「生活に役立つ物を作ろう」(第6学年) 環境のことを考えて作ろう<D(2)ア>
 ★ 「お弁当作りにチャレンジ」(第6学年) 献立の材料の準備<B(3)ア D(1)アイ(2)ア>
 ★ 「伝えよう！ありがとうの気持ち」(第6学年) できるようになったことをふりかえろう
 <A(2)ア B(3)ア C(3)ア D(1)アイ (2)ア>

7 本時の指導

(1) 目 標

○目的や品質を考えた物の選び方や適切な買い方について理解することができる。

【家庭生活についての知識・理解】

(2) 準備物

書画カメラ・各班のポスター・説明するための実物・具体物（チラシ・品質表示・各種マーク・通信販売のカタログなど）

(3) 展開

思考過程	学 習 活 動	主な発問・指示と 予想される児童の反応	指導上の留意点 ☆支援を必要とする児童へ の手立て	評価規準 (評価方法)
つかむ	1 本時の学習課題を確認する。		・ 発表の役割分担，準備物などを確認させる。	
	『すてきなお楽しみ会』を開くために かしこい買い方のポイントを発表し交流しよう！			
探る	2 言語活動の充実 各グループごとに、「かしこい買い方」ポイントとお楽しみ会に向けた品物選びの発表を行い，交流し合う。	○各グループごとに、「かしこい買い方」ポイントと「お楽しみ会で何を選ぶのか」の発表を行い，交流しましょう。 <u>食品(野菜・果物)グループ</u> ・鮮度（色・つや・みずみずしさ）・値段(広告) ・量 ・地産地消 ・味 ・包装トレーの回収・安全性 ☆果物選び <u>加工食品グループ</u> ・量・値段(広告) ・品質表示(原材料・賞味期限・添加物)・安全性 ・包装トレーの回収や空き缶・空き瓶などの分別 ☆ウィナー選び <u>お菓子・飲み物グループ</u> ・品質表示(原材料・賞味期限・添加物)・安全性 ・賞味期限と商品の選び方 ・食べ過ぎ，飲み過ぎ，買いすぎに注意 ☆飲み物選び お茶・牛乳・ 清涼飲料水・ジュース	・ 聞き手が興味・関心を持つような発表内容になるよう工夫させておく。 ・ 各グループで買い方のポイントとなることについては，前時に家庭科授業お助けスタッフの方と連携をとってアドバイスしてもらおうようにしておく。 ・ 環境への配慮についても発表させる。 ・ 広告や通信販売のカタログ・パンフレット・実物なども用意させておく。 ・ 選び方の具体例にチャレンジさせたり，失敗談などを紹介したりさせる。 ・ それぞれのグループ発表が終わる毎に，質問・意見・付け加えなどがあつたらさせていく。	
深める				

学び 見通しをもつ	3 本時の学習を ふり返る。 4 次時の予告	衣服グループ ・好み・サイズ・着心地 ・同じような物を持っていないか ・実物を手に取らない通信販売に注意 ・品質・値段・縫製のよさ ☆Tシャツ選び ○それぞれの品物の買い方について、共通したポイントには、どんなことが挙げられますか。 ・値段・品質・表示マーク・お店の選び方・情報集め・安全性・環境への配慮 ○今日学んだことを「買い物憲法」にまとめましょう。 いろいろな買い物の仕方について考え、 かしこい買い物計画を立てよう	☆ 「買い物憲法」にまとめることができない児童には、各グループのポスターや板書を参考にさせながら、書かせる。 ・ 自分の買い物について見通しを持たせておく。	・目的や品質を考えた物の選び方や適切な買い方について理解している。 【家庭生活についての知識・理解】 (発言・ワークシート)
-------------------------	--	---	--	--

8 板 書

すてきなお楽しみ会を開くために かしこい買い方のポイントを発表し交流しよう						お楽しみ会 豪華賞品 プレゼント 果物・お菓子 ウィナー 飲み物 
食 品 （ 野 菜・肉・魚） グループ	加工食品グ ループ	お菓子・飲 み物グルー プ	衣服グルー プ	文房具・小 物グループ	電化製品・ おもちゃ （ゲーム） グループ	
まとめ 値段 品質 表示マーク どこで買うか（店選び） 情報を集める 品物をよく見る 安全性 環境						